



みどりの丘

成田市立吾妻中学校
令和7年度第11号
R8. 1. 7

《学校教育目標》

「次代をひらき、心豊かにたくましく、生きる力を身につけた生徒の育成」

～スタートラインを自分で決めよう～

皆さん、明けましておめでとうございます。冬休みは有意義に過ごせましたか。皆さんが、多くの日本の文化に触れることができていることを期待しています。さて、いよいよ締めくくりの学期を迎えました。3年生は3年間の集大成、2年生は最高学年への準備、1年生は入学してくる後輩を迎えるための大切な時期となります。この3学期の過ごし方が来年度のスタートに大きく影響することはいうまでもありません。例えば3年生の皆さんは、現在、近い将来の進路に向けてひたすら努力しているところでしょう。そして卒業間際には進路先が決まっていることと思います。進路先が決まった後にどのように過ごしたかで、進路先での新しい生活が大きく変わってきます。つまり、来年度のスタートラインはこの3学期に既にあるのです。そして、そのスタートラインを引くのは、誰でもない自分自身なのです。お家の方々や先生たちはスタートラインを引く手伝いはできても、実際に引くことはできません。ぜひ自分の力でスタートラインを引いて、今学期のうちに来年度のスタートを切ってください。2年生や1年生の皆さんも同様です。先輩たちの背中を見ながら、自分でスタートラインをしっかりと引き、来年度のスタートをしっかりと切りましょう。

～「勇気の一步宣言」 道徳の授業にて～

現在、いじめ撲滅運動の取組の一環として各学年の道徳の授業の中で、様々な題材を扱っています。その中で、前回考えた「いじめの芽マップ」にもとづいて、いじめの傍観者にならないためにどうすべきかを考え、各自が「勇気の一步宣言カード」を記入し、廊下に掲示しました。「傍観者ではなく、『やめさせた方がいい』と周りに訴えかける」「いじめの現場を目撃して、止める勇気が出なかったら、声をかけやすい親や先生に相談する」「加害者の肩を持たず、いじめてはいけないことを伝える」「自分で良いことか悪いことかを判断し、加害者や観衆たちにどこがどう間違っているのか伝えて、やめさせる」など、今回の授業でも自分の考えが見える化し、互いに共有することで、「いじめを見逃してはいけない」という気持ちを強くもつことができました。



掲示された「勇気の一步宣言」

これらひとりひとりの「勇気の一步宣言」を大事にし、『ひとりひとりが支えあう みんな笑顔で認める ～いじめがなくなる学校へ～』のスローガンのもと、全校で「いじめを許さない。いじめを見逃さない。」という空気を作っていきましょう。

～SNSの利便性と危険性～

先日、2学期終業式の後に、生徒指導主事の〇〇先生からSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）についての話がありました。残念ながら本年度も、生徒同士のSNSトラブルがいくつか報告されています。SNSは今や我々の生活に切っても切れない便利な道具となってきています。一方で、深く考えることなく気軽に書き込んだことが、大きなトラブルやいじめにつながるケースもあります。これまでも多くの情報モラル教育を受けきた皆さんも、いつトラブルに巻き込まれるか分かりません。場合によっては皆さん自身が、知らず知らずにトラブルの火種になってしまうこともあり得ます。本来手軽に使える利便性が持ち味のSNSも、使い方によってはお互いの関係を壊してしまう危険性をはらんでいるのです。

文部科学省が小学生から高校生を対象にした情報モラル学習サイトを立ち上げています。URLを紹介しますので、時間を見つけて取り組んでみてください。<https://www.mext.go.jp/moral/>

3学期の最終下校時刻について

〇1月中 16:30

〇2月以降 17:00

本年度から最も遅い最終下校時刻を原則17:00に設定しています。